



今できること
プロジェクト
2024-2025
学び直しと伝承

中学生に
託す伝承の
バトン

震災伝承新聞被災地取材レポート②

仙台市立五橋中 ▶ 山元町

中学生記者が復興の現場へ

自分の目で見て、伝え、備える。

東日本大震災の記憶と教訓を将来に託す中学生たちが、宮城県内の被災地取材し、その成果を「震災伝承新聞」として2025年2月に発行。宮城県内外の中学校や災害伝承施設へ8万部を配布します。今年度で5回目を数えるこの取り組み。今回も仙台市内の3校が参加し、取材のノウハウを説明するオリエンテーションを実施後、五橋中の8人が山元町を訪問しました。



磯崎山公園でやまもと語りへの会の菊地正巳さんに聞き取り

体感した学びを同世代に伝えるために

9月14日、仙台市立五橋中の8人が、居住地域の5割以上が浸水し、637人が犠牲となった山元町を訪れました。同町でボランティア活動に取り組む学生組織「東北大学地域復興プロジェクトHARU」に所属する農学部2年の遠藤まりさん、同2年の貫洞美月さんが「山元町震災遺構 中浜小学校」をガイドしました。

福島市出身の遠藤さんと東京都出身の貫洞さんは、東日本大震災の発災時は5歳。被災地支援を行う先輩を介して中浜小を拠点に語り部を続ける「やまもと語りへの会」が、会員の高齢化に直面する苦境を知りました。

同会会員で発災時の校長、井上剛さんに師事し、実地研修4回を経たこの日が2人の初ガイド。中学生記者は、井上校長の判断で屋根裏倉庫に避難し、児童・教職員ら90人が校舎2階まで水没した津波から生還した経緯を伝える2人の説明を熱心にメモしていました。



HARUの2人が津波で17センチ移動した重さ2トンの石碑について説明

その後、同会会員の菊地正巳さんがバスに同乗し、磯地区の住民が避難した高台の磯崎山公園や教習生・従業員ら37人が犠牲となった常磐山元自動車学校跡地の慰霊碑を訪問。内陸に移設されたJR常磐線山下駅の周辺には沿岸部から移転した山下第二小や商業施設などを誘致した「つばめの杜」の新街区が広がっています。2017年、同地区に整備された「山元町防災拠

点・山下地域交流センター」では、耐震性貯水槽、マンホールトイレほか防災備蓄品などを浅川光喜所長に案内してもらい、災害への備えの大切さを学びました。

農業法人「やまもとファームみらい野」では、島田孝雄社長に災害危険区域に指定された沿岸部の住居跡や農地を大規模集約化した経緯を聞き取り。沿岸部南北8キロに及ぶ耕作地は表土を50センチ掘ると震災がれきが残るため、農業機械の部品交換頻度が高いそう。浸水



山下地域交流センターの浅川光喜所長が備蓄品庫を案内

した土壌の地力を上げながら長ネギ、トマト、サツマイモなどを出荷しており、4年前からは香港にサツマイモを輸出しています。被災した地元農家の雇用確保にもつながる従業員の皆さんによる長ネギの加工作業も見学しました。



やまもとファームみらい野で稼働する米国製の大型農業機械

現在、中学生記者たちが取材を振り返りながら、2月発行予定の特集紙面の制作に奮闘中です！

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI / アサヒビール 東北支社 / 石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校 / NTTデータ東北 / 花王 / キリンビール 東北統括本部 / ケーズデンキグループ・デンコードー / 劇団四季 / 光輝ビルテクノス / 神戸製鋼所東北支店 / サッポロビール / サントリー 東北営業本部 / JFEスチール仙台製造所 / JTB 仙台支店 / 住友不動産 東北事業所 / 生命保険協会 宮城県協会 / 仙台環境開発 / DICグラフィックス / 伝承千年の宿 佐勘 / 東亜道路工業東北支社 / 東伸環境 / 日本製紙 / 日本製紙クレシア / 日本損害保険協会 / 日本郵便 東北支社 / 野村不動産 仙台支店 / 東日本油化工業 / 平松剛法律事務所 / 藤崎 / 富士フィルムグラフィックソリューションズ / みちのく企業グループ / 三井住友海上 / 三井不動産 / 三菱地所グループ / 三菱重工機械システム / 宮城県建設業協会 / 宮城県自動車整備振興会 / 宮城交通みやぎ生協 / 明治安田生命 仙台支社 / リコージャパン 宮城支社 / 河北新報社 (順不同)

◎後援 / 宮城県、仙台市、石巻市、松島町、南三陸町、山元町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索



facebookページもあります。

企画・制作



営業局(今できることプロジェクト事務局)

[お問い合わせ]

今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)

tel 022-211-1318